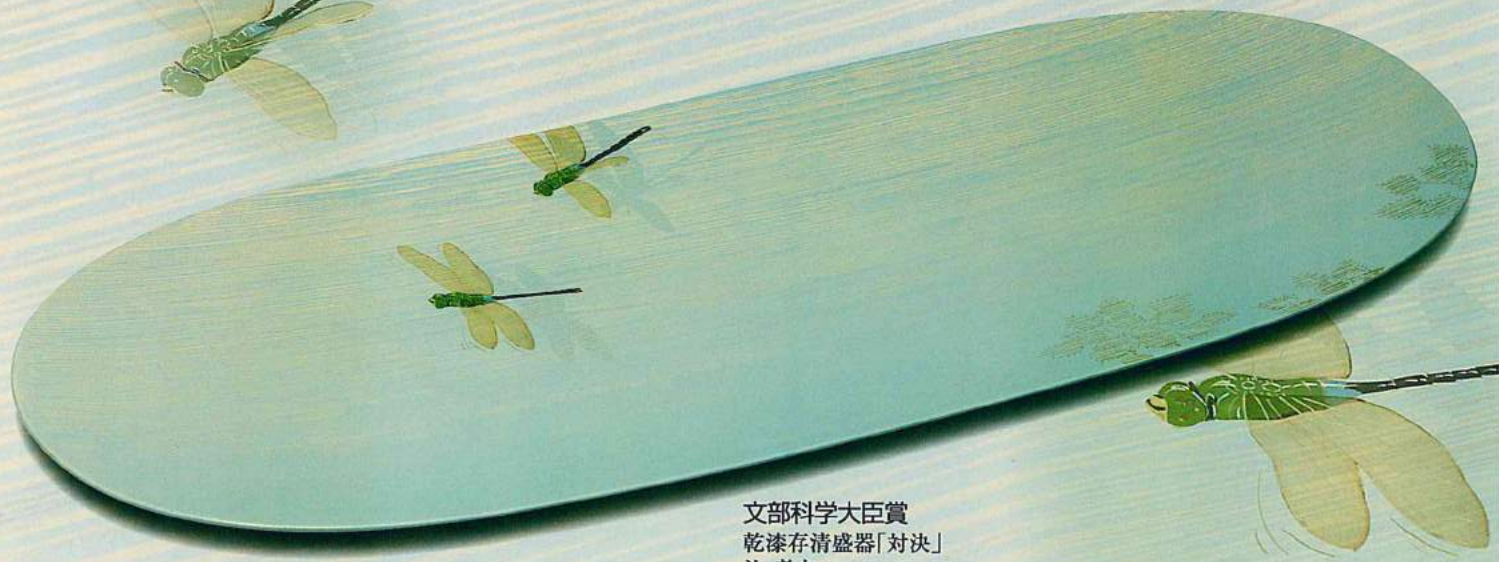


第36回

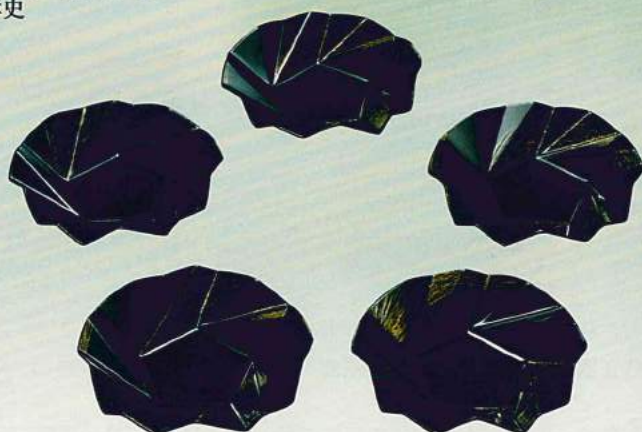
日本伝統漆芸展



文部科学大臣賞
乾漆存清盛器「対決」
辻 孝史



MOA美術館賞
乾漆彩切漆華文箱
中村 芳弘



東京都教育委員会賞
乾漆組針「旋」
奥窪 聖美



朝日新聞社賞
彫漆盛器「波動」
北岡 省三



奨励賞
熊本県伝統工芸館賞
乾漆蒔絵漆箱「栄」
須藤 靖典

会期 2019年 4月23日(火)～6月2日(日)

午前9:00～午後5:00 (4月23日は午前9:30より開会式 テープカット後オープン)
会期中の休館日/4月30日(火)・5月7日(火)・5月13日(月)・5月20日(月)・5月27日(月)
入場料/一般210円(140円)・大学生130円(100円)・高校生以下無料
()内は20名以上の団体料金

会場 **熊本県伝統工芸館** 2階企画・常設展示室
〒860-0001 熊本市中央区千葉城町3-35 TEL:096-324-4930

作品解説

4月23日(火) 開会式終了後
室瀬 和美氏 重要無形文化財(蒔絵)保持者

講演会

5月18日(土) 午後1時30分～
「うるしよもやま話」
山下 義人氏 重要無形文化財(蒔絵)保持者
会場/熊本県伝統工芸館 地下会議室

聴講無料
要申込

主催 / 一般財団法人熊本県伝統工芸館 公益社団法人日本工芸会

後援 / 文化庁 熊本県 朝日新聞社 公益財団法人岡田茂吉美術文化財団 NHK熊本放送局
熊本放送 テレビ熊本 くまもと県民テレビ 熊本朝日放送 エフエム熊本 FM79.1

第36回 日本伝統漆芸展

人間国宝(重要無形文化財保持者)作品



一閑張独楽塗茶器 増村 紀一郎



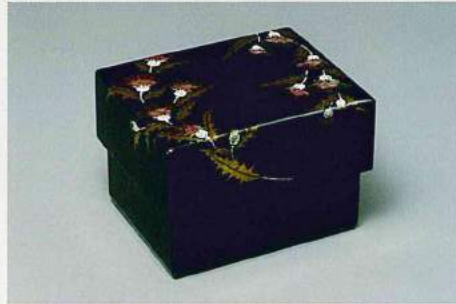
籃胎箱 小森 邦衛



花塗沈金棗「千鳥」 前 史雄



夕立蒟醬花器 山下 義人



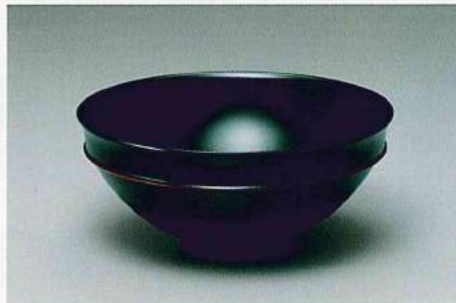
あざみ蒟絵小箱 中野 孝一



蒟絵平棗「春雪」 室瀬 和美



花鳥文玳瑁螺鈿香合 北村 昭斎



曲輪造小鉢 大西 勲



沈金象嵌方盆「窓」 山岸 一男

漆芸は、東アジアや東南アジアで発達した工芸です。堅牢で剥げにくく、防水、防腐性に優れた漆は、木工品の耐久性を高め、装飾の役割も持つ塗料として古く縄文時代から使われており、私たちの生活に深い関わりを持ってきました。

漆は塗り肌が美しくそれだけでも深い味わいがありますが、漆芸には漆の特質を生かした様々な装飾技法があります。例えば、漆と金銀粉を組み合わせ文様を描き出す蒟絵、金属板や貝殻を貼り込む平文や螺鈿、塗り肌を彫り込んだ部分に金箔をいれる沈金などです。こうした卓越した技術で表現される装飾は、日本の文化が育んできた美しさを備えており、多くの魅力ある漆芸作品を生み出しています。現在でも、茶道具や椀・盆・箱など多くの漆芸品が、私たちの日常生活やハレの場で用いられています。

「第36回日本伝統漆芸展」では、全国から公募・審査され、日本最高峰の技術・技法を駆使した漆芸作品を御紹介いたします。漆芸品の美しさと卓越した技術、そして漆文化の奥深さを御鑑賞いただきたいと思います。

作品解説

4月23日(火) 開会式終了後

解説者/室瀬 和美 氏

重要無形文化財(蒟絵)保持者

第36回日本伝統漆芸展実行副委員長

講演会

5月18日(土) 午後1時30分~「うるしよもやま話」

講師/山下 義人氏 (香川県)

重要無形文化財(蒟絵)保持者

縄文から現代まで日本の漆のよもやま話をお話いただけます。

会場/熊本県伝統工芸館 地下会議室

定員/50名(聴講無料)

講演会終了後、作品展会場にて作品解説を行います。(要入場料) お申込み・お問い合わせ/熊本県伝統工芸館



一般財団法人

熊本県伝統工芸館

〒860-0001 熊本市中央区千葉城町 3-35

TEL:096-324-4930 FAX:096-324-4942

URL:<http://kumamoto-kougeikan.jp>

●交通アクセス/バスで「市役所前」、市電で「熊本城・市役所前」下車、徒歩5分
●熊本城周遊バス「KKRホテル熊本前」下車
※駐車場が狭いので、公共交通機関をご利用下さい。